

令和4年（2022年）12月5日

小樽市立朝里中学校保護者の皆様

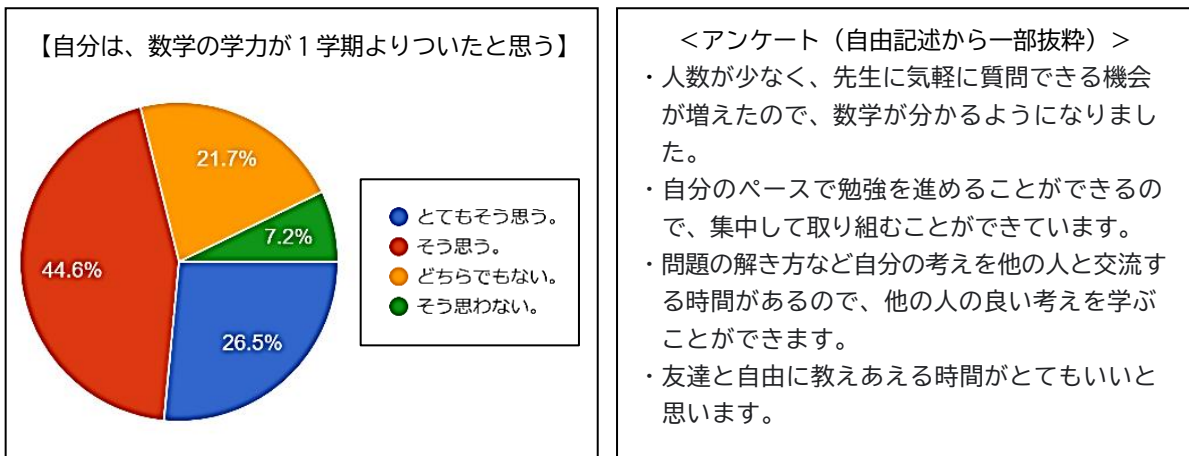
小樽市立朝里中学校
校長 森 万喜子

個別最適な学び及び協働的な学びの充実に向けて
～少人数・習熟度別指導の授業実践について～

本校では、個に応じたきめ細かな指導を実現するため、北海道教育委員会から数学科教員を1名多く割り当てられています。

そして、数学科では、その教員を効果的に活用するため、授業を複数の教員で行い、基礎・基本の確実な定着を目指す指導をしています。特に今年度は、小学生が中学校に進学した際に学習に困らないよう、第1学年の数学科の授業で重点的に生徒の実態に応じた習熟度別授業を実施しています。

習熟度別授業では、「基礎（じっくり）」・「応用（どんどん）」の2つのコースを設定し、生徒の理解度や希望等に応じて2つの教室に分かれて学習に取り組んでいます。



今後、数学科では「生徒が主体的に取り組む授業」をテーマに、自ら粘り強く学びを進め、学んだことを自分の言葉で周りに的確に伝えることができる力を育むことができるよう、指導体制の改善及び生徒に寄り添った授業の充実を図ります。

また、御家庭では、その日に学んだことを確実に定着させるため、会話のネタとして、学校で勉強したことをお子さんに説明させる時間を設けたり、数学科の単元シラバス（学習内容・評価方法が記載されたもの）をお子さんと確認し、授業の予習や復習を促す声をかけていただいたりするなど、御家庭で学習に向き合う時間を確保していただきますよう、御協力願います。